

重点目標1 全世代の健康を支える看護機能の強化

重点事業1-1 地域における看護職の確保と活躍推進

事業内容

1. 保健師・助産師・看護師の確保と活躍推進

実施内容

1. 保健師・助産師・看護師の確保と活躍推進

- 1) 行政と連携した「看護への道フェア」での保健師・助産師・看護師の魅力発信
- 2) 保健師の魅力発信イベント開催
- 3) 助産師の「性教育セミナー」の拡充
- 4) 「看護の出前授業」の拡充

目標値

- ・看護への道フェア参加者 150名
- ・保健師の魅力発信イベント参加者 30名
- ・性教育セミナー訪問学校数 20校
- ・看護の出前授業 15校

実施報告

1. 保健師・助産師・看護師の確保と活躍推進

- 1) 令和7年8月5日（火）、「看護への道フェア」を開催
参加者:学生92名（高校生66名、中学生21名、小学生5名）、保護者30名、その他8名、合計130名。
前年度より小学生、中学生の参加が増加傾向。会員施設及び職能委員会の協力員数：93名、アンケート回収率100%、満足度99%と好評
- 2) 令和8年2月14日（土）、「保健師の活動内容と魅力発信のためのイベント及び相談会」を開催。
看護師等養成所への案内、協会だより、協会公式ライン、ナースセンター公式ライン等で広く周知
参加者：14区市町自治体及び1企業 32名、学生等 30名 合計62名
- 3) 性教育セミナーは助産師職能委員を中心に申し込みのあった小・中・高校で実施
申込は18校、実施22回
- 4) 看護の出前事業：6校申込あり、6校終了

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-1 就業継続が可能な看護職の働き方の普及・支援

事業内容

1. 多様で柔軟な働き方の提案

実施内容

1. 多様で柔軟な働き方の提案
 - 1) 施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催
 - ・労働環境委員会からの情報提供
 - ・実践事例の提供と意見交換会
 - 2) 新規加入や未加入施設への施設訪問による情報提供
 - 3) 広報による情報提供

目標値

1. 多様で柔軟な働き方の提案
 - ・次世代管理者を含む看護管理者向け交流会の参加 50施設
 - ・参加後のアンケートで「参考になった」の回答が90%以上
 - ・施設訪問30施設

実施報告

1. 多様で柔軟な働き方の提案
 - 1) 施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催

令和7年9月30日（火）「就業継続が可能な看護職の働き方～多様で柔軟な働き方の提案～」として第1回施設会員代表者・看護管理者等交流会をハイブリッドで開催
来館23名（15施設）オンライン37名（23施設）の合計60名（36施設）参加
前半は、協会からの情報提供と労働環境委員会からの調査結果を報告、4施設から「就業継続を促す働く場の提供」「プラチナナースの働き方」「カスタマーハラスメントに対する組織対応策」「看護の専門性を活かす取り組み」好事例を発表。後半は、オンライン含む全員が参加できるシンポジウム形式とした。100%「参考になった」との回答
 - 2) 新規加入や未加入施設への施設訪問による情報提供
施設訪問 35施設
 - 3) 広報による情報提供
協会ホームページ、協会だより10月号へ掲載し会員施設へ郵送とメールにて配信
全会員へ会報97号にて情報提供

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-2 看護職のキャリアの構築支援

事業内容

1. ナースセンター役割の周知強化
2. NCCSの活用と安定的な運用

実施内容

1. ナースセンター役割の周知強化
 - 1) 地域に向けた広報活動
 - 2) 求職者登録数増加に向けた取り組み
 - 3) 行政との連携による看護補助者の無料職業紹介に関する運用
2. NCCSの活用と安定的な運用
 - 1) 第7次システムの周知 (NuPS)

目標値

1. ナースセンター役割の周知強化
 - ・ 広報活動の実施3回
 - ・ 令和6年度末と比較し、登録者数の5%増
 - ・ 看護補助業務に関する受講率が希望者の50%以上
 - ・ ハローワークと連携し、求職者への説明会実施2回
2. NCCSの活用と安定的な運用

実施報告

1. ナースセンター役割の周知強化
 - 1) 地域に向けた広報活動
 - ・ 施設会員代表者・看護管理者等交流会・商業施設・パパママ応援セミナーにてナースセンターの役割・NCCSについて4回説明
 - ・ 復職支援研修にてナースセンターの役割説明
 - ・ 諫早市PTA連合会研究大会冊子にナースセンター広告掲載
 - ・ 施設訪問時ナースセンターの役割説明 施設訪問151件
 - ・ LINEを活用した情報提供 情報提供158回、登録者1,335名
 - 2) 求職者登録数増加に向けた取り組み
 - ・ 施設代表者会議および施設訪問時に、管理者へ届出制度への協力依頼
 - ・ LINEを活用した就業相談 相談件数1,599件
 - ・ ハローワークと連携した求職者への説明会
ハローワーク出張相談件数 321件 (前年比1.9倍)
 - ・ 求職者登録数5%増: 680名 (前年比115.4%)
 - 3) 行政との連携による看護補助者の無料職業紹介に関する運用
 - (1) 看護補助者についての周知広報活動について
 - ・ 労働局の協力を得て、各ハローワークへポスター・チラシを配布
 - ・ 各病院へポスター・チラシを配布
 - ・ 県内イオン3か所にポスター掲示 (1か月間)
 - (2) 看護補助者就業希望者に関するハローワーク (HW) との連携
 - ・ ハローワーク出張相談会 相談者17名 (HW長崎8、HW諫早2、HW大村1、HW島原4、HW佐世保2)
 - 事業所説明会 合計14名 (長崎フリー面談会9、佐世保ミニ面談会5)
 - ナースセンターの来所相談者 合計12名 (諫早10、佐世保2)
 - ・ ハローワーク佐世保と共催「看護補助者セミナー」合計44名 (12月21日、3月23日)
 - ・ 看護補助業務に関する研修希望者19名内受講修了者12名 (受講率63.2%)
2. NuPSの運用は、2026年度秋に延期された (令和7年8月1日に通達)
 - ・ 施設会員代表者・看護管理者等交流会・管理者研修会・学生説明会にてNuPSについて説明し、リーフレット配布170部
 - ・ 県学会にてNuPS周知媒体ラミネート定規を配布 260枚

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-3 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進

事業内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
2. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及

実施内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - 1) あらゆる領域で多彩な学習機会の提供(2025年度研修一覧)
 - 2) 質の高いジェネラリスト看護職育成のための教育研修の充実
2. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及
 - 1) 生涯学習支援に関する情報提供・研修開催(2研修・7地区支部施設代表者会等)
 - 2) 看護師のまなびサポートブックの関係機関への配布

目標値

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - ・研修分類1定員数の80%以上、研修分類2～5定員数の90%以上
 - ・受講後アンケート結果で研修の理解度・満足度80%以上
2. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及
 - ・看護職の生涯学習に関する研修会者の受講満足度80%以上
 - ・令和6年度配布部数の10%増

実施報告

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - 1) 研修企画と実施状況:企画提供数63研修
 - 2) 質の高いジェネラリスト看護職育成のための教育研修の充実
 - ・研修受講実績:67.8%
 - ・受講後アンケート 研修の理解度・満足度・活用度 95%
 - ・研修分類1 37研修 日数 45.5日 受講者数 1,048名
 - ・研修分類2 8研修 日数 10.5日 受講者数 372名
 - ・研修分類3 9研修 日数 11.5日 受講者数 272名
 - ・研修分類4 3研修 日数 2日 受講者数 124名
 - ・研修分類5 6研修 日数 74日 受講者数 238名
2. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及
 - 1) 生涯学習支援に関する情報提供・研修開催
 - (1) 支部施設代表者交流会5回開催
 - ・7/5県央支部 32名 ・9/27 離島4支部45名 ・10/4県南支部 36名
 - ・11/22県北支部 20名 ・12/13 県央支部 16名
 - ・参加者のアンケート回答者66名のうち満足度87.9%
 - (2) 組織で進める生涯学習支援～生涯学習ガイドラインの基礎知識 開催
 - ・10/23 参加者8施設12名、受講者は看護実践能力習熟段階Ⅲ～Ⅳ
 - ・アンケートによる満足度92%・活用度75%
 - (3) 看護職としての自身の方向性～まなびサポートブックからのヒント 開催
 - ・11/7 参加者5施設11名、受講者は看護実践能力習熟段階 新人～Ⅲ
 - ・アンケートによる満足度・活用度100%
 - 2) 看護師のまなびサポートブックの関係機関への配布
 - ・配布総数1,520部、中期計画(2年目)における配布実績60%
 - ・認定看護管理者教育課程、教育指導等関係研修受講者868部
 - ・支部交流会、会員施設、看護師等養成所652部

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-1 看護の専門性を発揮する看護業務効率化の推進

事業内容

1. 看護業務効率化（タスク・シフト/シェア）の推進

実施内容

1. 看護業務効率化（タスク・シフト/シェア）の推進
 - 1) 施設会員代表者・次世代管理者含む看護管理者等交流会の開催
 - ・実践事例の提供と意見交換会
 - 2) 施設訪問による情報提供
 - 3) 広報による情報提供

目標値

1. 看護業務効率化（タスク・シフト/シェア）の推進
 - ・次世代管理者を含む看護管理者向け交流会の参加50施設
 - ・参加後のアンケートで「参考になった」の回答が90%以上
 - ・施設訪問30施設

実施報告

1. 看護業務効率化（タスク・シフト/シェア）の推進
 - 1) 施設会員代表者・次世代管理者含む看護管理者等交流会の開催
 - ・令和7年10月21日(火)、第2回「施設会員代表者・看護管理者等交流会」を開催
来館22名（12施設）オンライン52名（33施設）の計74名(42施設)が参加
 - ・長崎県医療人材対策室より「2040年を見据えた課題認識と方向性について」の情報提供、
「看護DXやICTを含む看護業務効率化に向けた取り組み」として、病院・介護医療院・離島の訪問看護ステーションの3施設から好事例を紹介
アンケートでは、「参考になった」との回答が100%
 - 2) 施設訪問による情報提供
施設訪問35施設（ナースセンターの施設訪問 150施設）
 - 3) 広報による情報提供
協会ホームページ、11月の協会だよりへ記載し会員施設へ郵送とメールにて配信
全会員へ会報97号にて情報提供

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-2 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進

事業内容

1. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活動推進

実施内容

1. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活動推進
 - 1) 看護管理者等と研修修了者等意見交換会の開催
 - ・長崎県特定行為研修修了者の交流会（N特ネット）から情報提供
 - ・看護管理者から情報提供
 - ・協会からの情報提供
 - 2) 特定行為研修修了者活躍の広報

目標値

1. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活動推進
 - ・看護管理者等を含む交流会の参加50施設
 - 参加後のアンケートで「参考になった」の回答が90%以上

実施報告

1. 特定行為研修のさらなる受講促進と修了者の活動推進
 - 1) 看護管理者等と研修修了者等意見交換会の開催
 - ・令和7年6月28日、長崎県特定行為研修修了者の交流会（N特ネット）との共催として、本協会から「看護協会が目指す特定行為研修修了者の活動について」情報提供。特定行為研修修了者2名から特定行為事例の報告。来館18名、オンライン21名の計39名参加。アンケートでは、「参考になった」との回答が100%。参加者から「オンライン参加者も最後まで参加して欲しい」「県内指定研修機関の増設、特に県北地区の開設を希望」「修了後の活躍の場の整備」「医師の理解が必要」などの意見
 - 2) 特定行為研修修了者活躍の広報
 - ・特定行為研修修了者の活動状況を会報95号及び96号にて紹介し広報
 - ・交流会の案内や交流会の結果、他団体の特定行為研修に関する情報をホームページ及び協会だよりへ掲載

重点目標 4 地域の健康危機管理体制の構築

重点事業4-1 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備

事業内容

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携
2. 災害支援ナース登録者の確保
3. BCP（事業継続計画）策定と周知

実施内容

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携
 - 1) 制度改正に基づく、災害発生時に備えた体制整備
2. 災害支援ナース登録者の確保
 - 1) 災害支援ナース養成研修の実施、災害支援ナース交流会の実施
 - 2) DMAT等の活動訓練への継続的な参加案内
3. BCP策定と周知
 - 1) ホームページでの公表

目標値

- ・災害支援ナース登録者数 110名
- ・災害支援ナース交流会開催1回

実施報告

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携
 - ・令和8年2月26日、発生時に備えた体制整備に関する県担当者との打合せを実施
行政の役割、看護協会の役割の確認
2. 災害支援ナース登録者の確保
 - ・災害支援ナース養成研修（10/15・10/16）修了者27名（名簿登録者 105名）
 - ・災害支援ナース交流会：令和7年7月5日（土）開催、参加者31名
テーマ「演習を通して、災害派遣に備えることができる」
 - ・1/29 西彼保健所災害時健康危機管理訓練（机上訓練）参加 災害支援ナース2名、役員1名
 - ・2/21 長崎JRAT養成支援研修（災害支援ナース3名、役員1名 感染対策ブースで参加）
 - ・3/18 長崎県大規模防災訓練（R8.5/30予定）避難所設置のための担当者会議参加
3. BCP策定と周知
 - ・「公益社団法人長崎県看護協会事業継続計画（BCP）」の策定、第6回理事会（令和8年3月）に報告、ホームページにて公表

基盤強化事業

事業内容

1. 会員の確保
2. 組織基盤の強化

実施内容

1. 会員の確保
 - 1) 協会内の「会員確保に関するワーキング」の検討内容を踏まえた入会促進活動の実施
 - ・入会促進パンフレットの配布、活用促進
 - ・SNSによる看護協会PR及び情報発信
 - ・育児休暇中の看護職を対象にした「職場復帰に向けた集い」の開催
 - 2) 未加入の施設を対象とした施設訪問及び看護管理者との情報交換
 - 3) 看護師等学校養成所との連携による学生への広報と周知
2. 組織基盤の強化
 - 1) 協会内に「在宅支援事業部の今後の方策検討会」の設置及び実施

目標値

- ・令和7年度末の会員数 9,600人

実施報告

1. 会員の確保
 - 1) 協会内の「会員確保に関するワーキング」の検討内容を踏まえた入会促進活動の実施
 - ・令和7年度会員数 9,345名、減少傾向
 - ・令和7年5月に協会の業務案内を改定し、6月には協会公式ラインを開設
徐々にライン登録も増加傾向（令和8年3月現在 登録者数409名）
 - ・令和7年12月3日（水）、諫早市内において、育児休業中等の看護職を対象に、医療機関及び団体の協力のもと、「かがやけ看護職！ママ&パパ応援セミナー」を開催。参加者5組
 - 2) 未加入の施設を対象とした施設訪問及び看護管理者との情報交換
 - ・未加入及び加入施設を含め 35施設訪問（県内の医療機関・介護施設・看護師等学校養成所・行政機関）。協会事業についての紹介等を実施
 - 3) 看護師等学校養成所との連携による学生への広報と周知
 - ・養成校との情報交換・共有を図り、あらゆる機会を通し、学生への広報及び周知
県内看護師等養成所 11校訪問
2. 組織基盤の強化
 - 1) 協会内に「在宅支援事業部の今後の方策検討会」の設置及び実施
 - ・令和7年7月から協会内に「在宅支援事業ワーキング」を設置
在宅支援事業部の事業運営についての現状分析及び今後の課題解決についての方策を検討（開催回数：7回）
令和8年2月18日（水）、在宅支援部所長会にて報告し、令和8年度の方針について共有

令和7年度 事業報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※下線は新規事業・〈 〉は重点事業

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容

1-1) 継続教育に関する事業

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援《重2-3》

- (1)あらゆる領域で多彩な学習機会の提供
 - ・計画63研修:63研修終了
- (2)質の高いジェネラリスト看護職育成のための教育研修（企画・運営・評価）
 - ・教育委員会の開催1回/月（12回）
 - ・研修実施後の評価、実施録まとめ-2024年度実施録7/10ホームページ掲載
 - ・支部、職能委員会との情報共有
 - 「看護職の生涯学習ガイドライン」 県央支部7/5参加32名、離島4支部9/27参加45名、県南支部10/5参加36名
県北支部11/22参加25名、県央支部12/13参加16名
- (3)日本看護協会との連携による研修提供
 - ①日本看護協会オンデマンド活用「医療安全養成管理者研修」
 - ・7/1～オンデマンド受講開始42名、11/27集合演習開催42名修了
 - ②日本看護協会オンデマンド活用「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」
 - ・第1回集合演習:7/17午前49名修了
 - ・第2回集合演習:7/17午後48名修了
 - 「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」:9/10第1回集合演習60名修了、9/11第2回集合演習59名修了
 - 「災害支援ナース養成研修」:10/15・16集合演習27名修了
 - 「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」:12/13集合演習開催11名修了
- (4)資格認定教育 認定看護管理者教育課程の企画・運営・評価
 - ①認定看護管理者教育課程教育運営委員会の開催6回/年 ①4/19②7/6③9/7④12/6⑤1/24⑥3/28
 - ②認定看護管理者教育課程ファーストレベル
 - ・第1回:5/15～9/20 37名、修了者37名
 - ・第2回:10/2～1/31 45名、修了者43名
 - ③認定看護管理者教育課程セカンドレベル
 - ・6/27～12/8 31名、修了者30名
 - ④認定看護管理者教育課程看護管理実践報告会
 - ・2024年度第2回ファーストレベル看護管理実践報告会:修了者50名中、6/15参加報告46名、紙上報告3名
 - ・2024年度セカンドレベル看護管理実践報告会:修了者37名中、9/6参加報告36名、紙上報告1名
 - ・2025年度第1回ファーストレベル看護管理実践報告:修了者37名中、2/14参加報告34名、紙上報告3名
 - ⑤日本看護協会認定部との連携
 - ・11/11看護管理者研修(付加研修含む)プログラム認定申請に関する説明会7名参加
 - ・3/17認定看護管理者教育機関審査に関する説明会7名参加
 - ⑥認定看護管理者制度見直しに伴う新たな教育課程の周知
 - ・9/20新たな教育課程スケジュール理事会報告
 - ・認定看護管理者教育課程に関するアンケート実施91施設
- (5)継続教育に携わる関係者との情報共有
 - ①日本看護協会および都道府県看護協会との連携:9/10都道府県看護協会教育担当者会2名参加
 - ②研修センター運営委員会の開催 2回/年:10/14第1回開催・11/12第2回開催
 - ③人材育成のための職員の学会等への参加:8/22・23日本看護管理学会2名参加

2. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及《重2-3》

- (1)「看護職の生涯学習ガイドライン」の普及
 - ①日本看護協会発信情報の提供
 - ・支部長会を活用した情報発信
 - ・研修会やホームページ、協会だよりを通じた情報発信
 - ②研修会開催
 - ・「組織で進める生涯学習支援」:10/23参加12名
 - ・「看護職としての自身の方向性～まなびサポートブックからのヒント～」:11/7参加10名

事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・支部との連携協働による生涯学習支援推進「看護職の生涯学習ガイドライン」交流会 ：同内容につき前頁1.(2)支部、職能委員会との情報共有欄を参照 ③「看護師のまなびサポートブック」の周知と関係機関への配布:1,520部配布 ・新人看護職員370部、基礎教育機関525部、教育関係研修受講者 498部、会員施設新人等127部提供
<p>1-2) 受託・補助事業等の企画・運営</p> <p>(1)長崎県看護職員認知症対応力・実践力等向上研修開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上研修: 11/8・9・16開催 応募者71名、受講者66名、修了者66名 ②介護施設等における看護実務者研修: 11/17・18・19開催 応募者34名、受講者34名、修了者33名
<p>1-3) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1)図書室の運営・整備・利用者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室利用状況:会員66名、非会員8名 ①図書・雑誌の収集・整備・管理 ②図書・看護文献情報提供、管理 <p>(2)文献検索支援</p> <p>(3)日本看護協会図書館との連携:10/7都道府県看護協会図書室担当者研修2名参加</p>
<p>1-4) 看護学会等学術集会に関する事業</p> <p>(1)長崎県看護学会学術集会の開催</p> <p>8/30(土)開催(対面) 参加者264名(一般参加185名、看護学生71名、委員8名)</p> <p>テーマ:「次世代へつなぐ長崎県産看護 ～みて、きいて、語り、実践!～」</p> <p>演題発表27演題(口演20題、示説7題)、シンポジウム(シンポジスト3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学会委員会開催 10月～9月は月に1回 学会月は3回 合計14回 ②長崎県看護学会学術集会の企画・運営・評価 ③学会委員・査読委員合同会議、協力委員との合同会議 ・3/10(火)開催 参加者18名 <p>(2)長崎県看護学会誌の発行 第18巻1号を9月発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学会誌編集委員会開催 1回/月(4回) <ul style="list-style-type: none"> a 査読員の人材確保(査読員のデータベースの作成と管理) b 査読能力向上のための研修(査読員を対象とした研修の企画・運営・評価) ・2/7「学会誌掲載論文査読員研修会」開催(ハイブリッド)参加者26名(来館4名、オンライン22名) c 掲載論文確保のための検討(学会誌のPR活動・他の委員会との連携会議) <p>(3)研究助成に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①看護職の研究活動に対しての助成(申請受付期間前年度1月初旬～2月末日) <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度応募1件 R7.3/21審査委員会、R7.3/25交付決定、R8.3/31研究報告書受領 ・令和8年度応募受付 1/5～2/27 応募なし <p>(4)他団体学会等への後援並びに協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長崎県国保地域医療学会への協力

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)

事業内容
<p>2-1) 勤務環境改善への取り組み支援事業</p> <p>(1)労働環境委員会の開催 1回/月(13回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①労働環境管理上の問題点、課題等の情報交換 第1回施設会員代表者・看護管理者等交流会(9/30)にて「就業継続が可能な職場について」調査結果報告 ②普及啓発 協会ホームページ更新「健康で安全な職場を目指す情報室」(労働環境に関わる新情報等) ③ナースセンター・看護キャリア支援センターとの連携 <p>(2)就業継続が可能な看護職の働き方の周知・普及《重2-1》</p> <ul style="list-style-type: none"> ①委員会、各支部、施設会員代表者・看護管理者等での普及・支援 ・第1回施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催 9/30「就業継続が可能な看護職の働き方(多様で柔軟な働き方)」について事例発表4名 参加者60名(来館23名/15施設、オンライン37名/23施設)

事業内容

- ②施設会員代表者・看護管理者等交流会にて多様で柔軟な働き方の提案・実践事例の提供
 - ③ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の情報提供
 - ④施設訪問により多様で柔軟な働き方の提案及び情報提供
 - ⑤協会ホームページ更新「健全で安全な職場を目指す情報室」（労働環境に係る新情報等）
- (3)看護の専門性を発揮する看護業務効率化の推進《重3-1》
- ①施設会員代表者・看護管理者等交流会で看護業務効率化（タスク・シフト/シェア）の実践事例の提供
・第2回施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催
10/21「看護DXやICTを含む看護業務効率化にむけた取り組み」について事例発表3名
参加者74名（来館22名/12施設、オンライン52名/33施設）
 - ②医療DX・ICT等の活用に関する情報提供及び好事例の紹介
 - ③ホームページや協会だよりでの情報提供

2-2) 看護職の就業支援事業

(1)就業促進支援の推進(長崎県ナースセンター事業：県委託による)

①就業に関する相談支援

a ナースセンター事業所内求職相談（諫早本所・佐世保支所）《前年比》 合計件数5,313《121.0%》
来所238《100.1%》 電話2,023《104.3%》 郵便・FAX583《91.8%》 メール831《71.0%》 LINE1,599《4.3倍》

b LINEを活用した情報発信

LINE登録者数1,335名《2.1倍》 情報配信158件《1.7倍》

c 移動相談

・ハローワーク：定例相談（長崎：2回/月、諫早・大村・佐世保：1回/月、島原1回/3ヶ月）

事業所説明会：フリー面談会（長崎）、事業所ミニ面談会（佐世保）

ハローワーク相談者数：321名《前年比1.9倍》（長崎181名、諫早46名、大村44名、佐世保42名、島原8名）

HW長崎フリー面談会（11回、58事業所、求職相談者21名）

HW佐世保ミニ面談会（4回、22事業所、求職相談者21名）

・施設訪問（求人施設情報収集、求職者の就労ニーズを踏まえた働き方の提案等）

151件（長崎37件、諫早24件、大村8件、島原9件、離島11件、佐世保62件）《目標：150、達成率100.7%》

施設来所72件（諫早39件、佐世保33件）

・看護職員合同就職説明会（県主催）への参加 12/7 相談者2名

・移住サポートセンターと連携し移住者の就業相談 オンラインながさき暮らし相談会9/6 相談者0

1/31 相談者2名

d 求人・求職情報の把握と提供

・求職者・求人施設の登録者の現状把握：1回/6ヶ月 求人施設773件、求職者679件

・求人情報一覧の作成・配布 5/15 求職登録者370名へ送付、9/8 求職登録者404名へ送付、

1/13 求職登録者412名へ送付

②離職時等の届出制度の定着《前年比》

新規届出者数202人《1.2倍》、うち就職者50人《1.9倍》

a 看護管理者へ届け出制度説明、退職者へ「退職される皆様へ」セット配布依頼

b 研修センター、長崎県看護キャリア支援センター研修時に受講生へ説明・周知

c 「届出制度」啓発、「eナースセンター」への登録促進

施設訪問および9/30第1回施設代表者会議にて届出制度説明

③登録の支援（求人：ガイドブック・登録マニュアル配布、求職：登録・活用法マニュアル配布）

・求職・求人新規および再登録数（諫早本所・佐世保支所）《前年比》

求職登録者数680名《115.4%》 求人登録数669名《102.5%》 就職者405名《124.2%》

・9/30第1回施設代表者会議にて求人登録マニュアル配布

④長崎県看護キャリア支援センターとの連携 運営委員会出席4/28 12/22

長崎県看護キャリア支援センター事業等検討会出席11/14

a 離職者・未就業看護職の潜在化防止と就業意欲を高めるための研修会・交流会へ協力

・キャリア支援センター主催である復職支援研修・プラチナナース研修の諫早開催時の協力

復職支援研修においてナースセンターの説明5/14、7/9、10/8、1/14

・潜在看護職への継続的な就業支援：復職支援研修受講 未就業者への支援

復職支援研修PR：4/24、9/5LINE配信、5/8、9/2付求人情報に掲載、協会だより5月号に掲載

・プラチナナース看護職の勤務継続支援：研修受講者 未就業者への支援

9/2付求人情報に掲載、9/29LINE配信

9/30第1回施設代表者会議にてプラチナナース活躍促進サポートBOOK配布

ながさき看護ビジョン（県広報）で研修紹介

事業内容

- 10/24 プラチナナース研修（佐世保）5名参加
1/16 プラチナナース研修（諫早）14名参加
- ・新人看護師の職場適応への支援：新人看護職員研修交流会出席 6/30
 - ・看護学生と看護職員の交流会7/25、新人看護職員指導者研修9/1、2 協力
 - ・相談者へ研修紹介
- ⑤看護職員離職者調査及び需要調査
4/23発送504施設、回答数365施設 回答率72.4%、離職率9.5%、新卒離職率10.8%
協会だより7月号、10月号で報告
- ⑥保健師の魅力発信イベントの開催《重1-1》
参加自治体とオンライン事前打合せ 12/18・23
2/14（土）開催 参加者30名 転職相談1名
- ⑦「多様な働き方に向けた促進事業」（日看協委託事業）
16施設に対して、求人情報にない働き方や採用年齢の変更など提案し、13施設に取り入れられ10名が採用
10/31 プラチナナース3名を新たな採用条件で採用した施設を訪問し、情報収集
2/20 日看協委託事業の報告書提出
- (2)看護職のキャリアの構築支援《重2-2》
- ①ナースセンターの役割の周知強化
- a 地域に向けた広報活動
ナースセンター未登録施設への訪問 諫早17件、佐世保17件
- b 求職者登録数増加に向けた取り組み
看護師養成所の同窓会を対象にナースセンター周知 11/22長崎大学同窓会でPR
- c 行政との連携による看護補助者の無料職業紹介に関する運用
- ・看護補助者の確保・定着に向けた取り組み（日看協委託事業）
看護補助者研修ポスター100枚・チラシ1,000枚作成し、4/28長崎県労働局へ送付。ハローワーク10か所へ配置
イオンとの包括連携協定事業にかかるポスター掲示 10月
 - ・事業所説明会（フリー面談会《長崎》、ミニ面談会《佐世保》）で補助者業務説明・相談
看護補助者相談43名（長崎17名、諫早12名、大村1名、島原4名、佐世保9名）
 - ・ハローワーク佐世保看護補助者セミナー 12/2 参加者21名（1名看護補助者就業）、3/3 参加者23名
 - ・ナースセンターによる看護補助者としての就業に向けた研修（日本看護協会オンライン研修）受講支援
研修申込者19名、修了者12名
- ②NCCSの活用と安定的な運用
- a 第7次システムの周知・活用（NuPS）
無料職業紹介事業の事務効率化に向けた検討のためのWGに関する説明会 6/26
- ・看護学生・潜在看護職を対象としたNuPS周知（日看協委託事業）
看護学生を対象としたNuPS周知媒体ラミネート定規納品 8/29
長崎県看護学会学術集会参加者260名へNuPS周知媒体ラミネート定規配布
9/11管理者研修にてNuPS説明・NuPS周知媒体ラミネート定規配布
9/30第1回施設代表者会議にてNuPSについて説明
- (3)「看護の心」普及及び進路指導・相談に関すること
- ①2025看護への道フェア8/5（火）
参加者 学生92名（小学生5名、中学生21名、高校生66名）、保護者30名、他8名 合計130名
NHK・3SUNテレビ・ひまわりテレビの取材放映あり
- ・対象者（中・高校生、保護者）への周知
協会だより6月号にて周知
県内高校・中学校・図書館・養成校等へ6/6開催案内送付
- ②出前授業事業の周知・実施
- ・行政・教育委員会との連携による周知 4/3県内中学校・高等学校・教育委員会へ文書発送
 - ・報道関係各社への情報提供による周知
 - ・講師の調整・依頼による実施
実施校6校 参加者総数：生徒326名・教員等20名 協力施設6施設
- ③看護師等学校・養成所への訪問によるナースセンター説明
- ・9校実施 参加学生総数367名
- ④その他
- ・9/16豊島岡女子学園高等学校生徒の探求学習発表
 - ・10/14活水高等学校生徒の探求学習協力
- (4)事業運営の充実に向けた活動
- ①ナースセンター運営委員会の開催（2回/年）4/22、10/27

事業内容

- ②ナースセンター業務連絡会の開催（6回/年）5/27、7/30、9/29、11/25、1/27、3/10
- ③関係機関との会議等への出席
- ・中央ナースセンターとの連携：都道府県ナースセンター事業担当者会議 4/16
都道府県ナースセンター長会議（オンライン）7/23
ナースセンター事業担当者情報交換会（オンライン）9/10、12/8、3/18
「離島・へき地等における看護職確保」特設サイト（11月下旬サイトオープン）
特設サイト掲載記事におけるへき地等へ県内外から就業した方への協力調整
特設サイト掲載動画撮影におけるへき地等へ県内外から就業した方への協力調整
中央ナースセンター課長来訪情報交換 10/2
 - ・労働局との連携：長崎県人材確保対策推進協議会（医療・福祉分野）5/20
医療・介護・保育分野 施設見学・意見交換会の為の情報提供・訪問
県北：耀光リハビリテーション病院 7/29
県央：JCHO諫早総合病院 8/5
ハローワーク長崎職場見学会（井上病院）8/21
ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議 8/27
ハローワーク長崎職場見学会（愛宕病院）11/18
「ナースセンターとハローワークの更なる連携事業実施要領」の一部改訂を踏まえた事前WEB説明会 1/15
労働局と県との情報交換会 1/21
ナースセンターとハローワークの連携事業拡大のためのチラシ検討
 - ・県医療人材対策室との連携：今年度の事業に関する打合せ 6/25、10/16、1/14
長崎県ナースセンター事業運営委員会8/27
県広報誌(12月号)特集ページ「移住者インタビュー」掲載について協力調整
イオンと県との包括協定に基づくナースセンターPR事業
1/18(日) 島原イオン チラシ200・ノベルティ341配布、
血圧測定3名、血管年齢測定79名、就業相談3名
2/7(土) 大村イオン チラシ300・ノベルティ500配布
血圧測定4名、血管年齢測定80名、就業相談5名
インスタグラム広告作成 3/1～3/25配信開始、ターゲット：20～40歳代の女性
看護職の確保・定着を考える意見交換会マッチング検討会 3/30
- ④相談員の質の向上
- 職業紹介責任者講習（オンライン）6/6 1名
 - 情報セキュリティ研修（オンライン）8/1 1名
 - ナースセンターおよびNuPSの効果的な周知に関する研修（オンライン）9/1 2名
 - 行政機関による定期指導と調査の実務セミナー（オンライン）9/25 1名
 - 長崎県看護職員採用力向上セミナー（オンライン）10/16、10/23、10/28 2名
 - キャリアコンサルティングを活用するためには（オンライン）12/9 1名
 - 求職者確保に役立つ就職支援スキルアップセミナー3/3 1名
- ⑤准看護師の進学相談及び進学支援
- 看護への道フェアにて通信看護学校パンフレットを設置

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容

3-1) 看護師業務の改善に関する事業

(1)看護師職能委員会開催 1回/月（12回）

(2)看護師の質向上に関する事業

①研修会・交流会の開催

a 看護師職能Ⅰ（病院領域）Ⅱ（施設・在宅領域）合同研修会・交流会

テーマ：「気持ちよく出す」ことを叶える排便ケア～本人の力を引きだす排便ケア～

日時：8/9（土）13：00～16：00

講師：うんこ文化センターおまかせうんちッチ代表 コンチネンスアドバイザー 榎原 千秋

参加者：61名（会員42名、非会員19名）

b 看護師職能Ⅰ（病院領域）・Ⅱ（施設・在宅領域）合同研修会・交流会

テーマ：「最期を迎える患者と家族との関わり～終末期や看取りの対応～」

事業内容

日時：10/25（土）13：00～15：30

講師：社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 地域包括ケア推進本部 地域包括マネジメント室
診療看護師 緩和ケア認定看護師 桃田 美智
株式会社メモリード 参事 遺体衛生保全士 江越 富士男
参加者：70名（会員60名、非会員10名）

(3)病院と在宅看護の充実に向けた事業

①職能委員会による交流会開催（再掲）

(4)三職能合同交流会

テーマ：「意思決定支援～全世代における患者・家族の人生の選択を支援する～」

日時：6/21（土）13：30～16：00

内容：①事例報告4演題

②特別講演「意思決定支援～全世代における患者・家族の人生の選択を支援する～」

講師：琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展

③総合ディスカッション

参加者：222名（会員212名、非会員10名）

(5)看護の専門性を発揮する看護業務効率化の推進《重3-1》

①職能委員会による研修会・交流会開催（再掲）

(6)「2025看護への道フェア」に協力・参加 8/5（火）委員2名

看護師になるには・看護師の働く姿のパネル掲示と説明

体験型ブースの設置：①聴診器体験、②血中酸素濃度測定体験、③駆血帯と血管の触知体験など

(7)地域における看護職の確保と活躍推進《重1-1》

①行政・本会・各職能・各支部・看護学校などとの連携にて次世代看護職の育成

問題提起やイベントへの協力、及び各職能の地域活動への協力

8/26（火）長崎県への要望書提出に出席 委員長

(8)日本看護協会看護師職能I・IIとの連携、ネットワーク構築

①全国職能別交流集会への参加 6/12 千葉 幕張メッセ

②全国職能委員長会議への参加・意見集約 8/1、3/6 東京 TKP新橋カンファレンスセンター

③地区別職能委員長会議への参加・意見集約 10/24 大分 ホテル日航大分オアシスタワー

(9)会員拡大の推進

①交流会・研修会の際の非会員への説明

②非会員、および長崎県老人保健施設協会・長崎県老人福祉施設協議会への研修案内

3-2) 保健師業務の改善に関する事業

(1)保健師職能委員会開催 1回/月（12回）

交流会等企画、実施、評価

(2)保健師ネットワーク会議の開催

目的：企業や行政(市町・県)など様々な領域で働く保健師の任意団体や大学等のネットワーク強化やキャリア形成支援

テーマ：「保健師活動の課題と今後必要な取り組みを考える～パートII」

日時：8/2（土）13:30～15:30

参加者：15名 保健師教育機関、健保連保健師看護師連絡協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、
全国保健師師長会長崎県支部、市町村保健師会、県保健師会、長崎市、佐世保市等

(3)保健師職能交流集会の開催

テーマ：「つながろう 産業保健と地域保健」

日時：12/6（土）

内容：日看協調査結果報告、話題提供(産業保健センター、企業、市町の保健師)、グループワーク

参加者：医療機関、福祉施設、企業、行政(県、市町、保健所)等で働く保健師19名、他(演者：4名、
保健師職能委員6名、会長1名) 合計30名

(4)三職能合同交流会

日時：6/21（土）13：30（総会后）～16：00

看護師職能委員会への協力 8名

(5)「2025看護への道フェア」に協力・参加

2名協力 ブース参加者65名

(6)長崎県職場の健康づくり応援事業への協力

協会事務局との協働による登録者研修の実施

要請に応じた事業への協力 講師派遣14件実施

事業内容

(7)保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント開催への協力《重1-1》

- R8.2/14 (土) 13:00~16:30 委員9名参加
・12/18参加市町と事務局の打ち合わせ (2名参加)
・奥藤委員が産業保健師として職場紹介実施

(8)会員拡大の推進

保健師業務紹介パネルや入会案内チラシを活用し、各種交流会、会議等で呼びかけ
保健師職能委員会だより「なでしこだより ~KAURA~」の作成及び配布1回

(9)日本看護協会保健師職能委員会との連携、ネットワーク構築

- ①全国職能別交流集会への参加・意見集約
6/12 全国保健師交流集会への参加 1名
8/1、3/6 全国保健師職能委員長会議への参加 1名
②ブロック別職能委員長会への参加・意見集約
10/24 地区別職能委員長会 (大分) への参加 1名

3-3) 助産師業務の改善に関する事業

(1)助産師職能委員会開催 1回/月 (12回)

(2)助産師の質向上に関する事業

①交流会・研修会の開催

a.周産期のメンタルヘルス交流会

「特別な配慮・支援を必要とする妊産褥婦の支援~知的障がいのある妊婦のケアに焦点をあてて~」

アドバンス助産師の更新単位 (選択科目)

日時: 10/18 (土) 13:30~15:30 参加者13名 (参加者8名+委員5名)

講師 長崎みなとメディカルセンター外来副師長 井本 真由美

b.産後ケア事業に関する交流会

「ママとパパ、そして赤ちゃんが幸せになるための産後ケア」ハイブリッド開催

アドバンス助産師の更新単位 (選択科目)

日時: 11/8 (土) 13:30~15:30 参加者20名 (オンライン12名、会場8名 うち委員8名)

講師: レインボーさんばハウス 助産師 中村 まり子

(3)母子保健の向上に関する事業

①性に対する知識の普及

性教育セミナー開催 18校 (開催回数22回) 参加人数延1,656名

②第29回「国際助産師の日」記念イベント

目的: 助産師活動の市民への啓発、「国際助産師の日」PR

日時: 7/6 (日) 13:30~16:00

対象: 地域住民

場所: みらい長崎ココウォークイベント会場

内容: あらゆる女性を対象とした保健指導・相談、授乳・離乳相談、助産師職能のアピール

胎児人形、性教育教材紹介を用いた体験

参加者205名 (内訳: 大人110名、小人95名)

(4)三職能合同交流会

長崎県看護協会通常総会後に三職能合同交流会開催 (看護師担当) への協力 (8名協力)

テーマ: 「意思決定支援~全世代における患者・家族の人生の選択を支援する」

日時: 6/21 (土) 13:30~16:00

内容: 意思決定に関わった事例発表 (各職能より) と講演 (1名協力)

講師: 琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展

参加者: 保健師・助産師・看護師・准看護師

参加者: 222名 (会員212名、非会員10名)

(5)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの推進《重3-1》

① 職能委員会による課題抽出

(6)「2025看護の道フェア」に協力・参加

8/5 協力委員2名 進学相談、胎児人形ふれあい、妊婦体験

(7)看護協会助産師職能委員会との連携、ネットワーク構築

6/11 日本看護協会通常総会出席 (千葉)、6/12全国助産師職能委員長会会議出席 (千葉)

8/1、3/6 2025年度日本看護協会全国助産師職能委員長会会議出席 (東京)

8/25 令和7年度長崎県持続可能な周産期医療体制確保ワーキンググループ会議出席 (長崎県庁WEB会議併用WEB出席)

事業内容

- 10/24 2025年度地区別職能委員長会出席（大分）
11/10 令和7年度長崎県保健医療対策協議会 小児・周産期・産科医療確保対策部会出席（長崎県庁WEB会議併用WEB出席）
2/27 令和7年度妊産婦等相談支援ネットワーク推進協議会（長崎県庁WEB会議併用WEB出席）
3/26 令和7年度第2回小児・周産期・産科医療確保対策部会（長崎県庁）

3-4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供

- (1) 特定行為研修のさらなる受講促進《重3-2》
① 特定行為研修修了者活躍の広報
(2) 特定行為研修修了者の活動推進
① 特定行為研修修了者の活動状況の情報発信
・ 会報へ「お仕事紹介」掲載 95号(4月)、96号(9月)
・ 6/28(土) N特ネット交流集会共催（主催：N特ネットワーククラブ）参加者39名（現地18名、オンライン21名）
場所：佐世保共済病院
内容：特別講演「看護協会が目指す特定行為研修修了者の活動」講師 井口副会長 交流集会、症例検討
② 看護管理者等と研修修了者の交流会
(3) 最新の情報の提供
① 施設会員代表者・看護管理者等との交流会（2回/年）
・ 第1回：9/30「就業継続が可能な看護職の働き方」について事例発表 発表者4名（再掲）
参加者60名（来館23名/15施設、オンライン37名/23施設）
・ 第2回：10/21「看護DXやICTを含む看護業務効率化にむけた取り組み」について事例発表3名（再掲）
参加者74名（来館22名/12施設、オンライン52名/33施設）
② 支部との連携

3-5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業

- (1) 安全管理委員会の開催 1回/月（11回）
① 委員間の情報交換、中小規模医療機関、介護施設、訪問看護事業所等への医療安全に関する聞き取り
② 耳より情報の発信 1回/3か月
・ VOL35（5月協会だより）、VOL36（8月協会だより）、VOL37（11月協会だより）、VOL38（2月協会だより）
③ 交流会の企画・開催
・ 12/6「医療・介護施設の安全を考える交流会（第9回）」テーマ「病院内の防犯対策」
参加者34名（会員29名、非会員5名）
④ 協会活動への協力（医療安全管理者研修等への運営協力、各事業所へのアドバイス）
(2) 事故発生時の相談支援
① 医療事故調査制度に基づき、長崎県医療事故調査等支援団体等連絡協議会との連携
(3) 医療・看護安全に関する地域支援
(4) 日本看護協会及び都道府県看護協会との連携・協力
① 日本看護協会医療安全推進会議出席
(5) 指定地方公共機関としての体制整備・有事の対応

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容

4-1) 在宅支援事業の推進

- (1) 地域における看護職の確保と活躍推進
① 県内訪問看護ステーションにおける、中・高校生のふれあい看護体験・インターンシップ等の受け入れ促進
・ 県内看護師等養成施設への広報活動
(2) 在宅支援事業部の充実に向けた活動・県内在宅支援事業の実践モデルの発揮
① 健全な運営経営 SWOT分析し経営戦略にて事業展開の継続
在宅支援事業部運営委員会（2回/年）：11/5・3/2
在宅支援事業部所長会議（6回/年）：4/16・6/18・8/27・10/22・12/17・2/18
「在宅支援事業部の今後の方策検討会」の設置及び実施
：在宅支援事業ワーキング7/2・8/6・9/5・10/10・11/25・12/9・1/7

事業内容

- 在宅支援事業部内委員会：・感染対策委員会 2回/年7/16・2/18 研修会 1回/年：9月各事業所研修
 ・ハラスメント対策委員会 2回/年6/25・11/26 ・研修会1回/年：10/28協会研修
 ・高齢者虐待予防委員会 2回/年6/18・2/18 ・研修会1回/年：各事業所で実施
 委員会名変更2/18 虐待防止・身体拘束適正化検討委員会
 ・災害・BCP策定委員会 3回/年 5/25・12/3・3/4
 研修会1回/年：9月各事業所にて机上訓練
 ・教育委員会 4回/年：6/18・10/22・12/24・3/25
 ・安全管理対策委員会 2回/年：4/16・10/22

長崎県看護協会職員研修：10/28カスタマーハラスメント対応について

a 訪問看護ステーション

<医療依存度の高い方や終末期・重度の障がい者・医療的ケア児・精神障がい者へ質の高い訪問看護の提供>

- ・小児・難病・精神の利用者の受け入れを積極的に行う
- ・関係施設の多様なニーズに対応できるよう体制強化人材の育成
- ・グループホーム（以下GH）、通所介護機関など施設との医療連携を進める
- ・施設での看取りの支援 GH看取り5件
- ・介護職との連携強化
- ・複数訪問看護ステーションとケア提供
- ・ICTの活用：オンライン請求
- ・保険外のサービス（オプション）の提供：医療的ケア児レスパイト事業（福江112件・諫早14件）
- ・近隣の事業所との研修会開催
- ・地域住民等への情報提供・相談支援
- ・関係団体との連携・研修・講義・実習への協力
- ・各事業所：訪問回数の目標値設定：訪問看護ステーション：機能強化型1維持
- ・訪問看護ステーション所長合同会議：webにて4/23・5/27・8/27・12/17
- ・ベースアップ支給

b 居宅支援事業所（特定加算事業所）

<医療機関、行政、地域包括支援センター、介護保険事業所等と必要時迅速に連携する>

- ・ICTの活用：ケアプランデータ連携システム活用（厚労省・諫早市：モデル事業の継続）
- ・各事業所 利用者数の目標値設定（長崎・諫早：特定事業所医療・介護連携加算の算定を目指す）
- ・介護支援専門員初任者研修生の受け入れ（諫早2名・長崎1名）
- ・障害相談支援体制づくり（介護保険への移行相談等）
- ・介護予防支援事業所申請：ケアプランセンター諫早（8/1～指定）

c 訪問介護事業所（特定加算事業所）長崎県最低賃金R7.12.1～1,031円→時給見直し支給

<医療機関、地域包括支援センター、介護保険事業所・障害総合支援事業所との連携を密にする>

- ・各事業所 訪問回数の目標値設定（自立支援に向けて、身体生活支援を行いサービス提供）
- ・保険外のサービス（オプション）の提供
- ・ヘルパー事業所所長・サ責合同会議：5/29
- ・ヘルパー処遇改善交付金（R6.10～R7.3分）6/13支給・（R7.4～9分）12/5支給・（R7.10～R8.3分）R8.6支給予定

d 東部地域包括支援センター（諫早市からの委託事業）

- ・総合相談
- ・権利擁護事業
- ・継続的・包括的ケアマネジメントの支援業務
- ・地域ケア会議（個別会議、圏域会議）の実施と活用
- ・介護予防啓発事業の強化
- ・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター等）
- ・認知症地域支援事業（認知症地域支援推進員等）
- ・東部包括内の総合・予防ケアマネジメント利用者の目標値設定

e 訪問看護サポートセンター

- ・長崎県訪問看護サポートセンター事業（長崎県委託事業）

i 県内訪問看護事業所の相談窓口、県民に対する相談窓口の設置

相談	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
件数	71	92	49	56	27	63	61	54	44	57	31	44	649	54.1

県外からの相談：14件

- ・地域住民への訪問看護の周知・啓発
- ・訪問看護師の確保・定着及び資質向上に向けた取組
- ・関連行事を活用した訪問看護の周知活動

事業内容

- ii 県内訪問看護ステーション事業の推進・人材育成
 - ・訪問看護師養成講習会（7月～12月）：21名申し込み登録（8回集合研修・施設実習等）
12/6 修了：18名
 - ・研修事業：スキルアップ研修 6回、
 - ① 7/25 フィジカルアセスメント（佐世保）：2名
 - ② 8/31 フィジカルアセスメント（長崎大学）：4名
 - ③ 9/12 褥瘡ケア：39名
 - ④ 10/11 在宅認知症者の生活障害ケアと家族支援：15名
 - ⑤ 12/6 自分の人生を生きるためのACP：6名
 - ⑥ 1/24 訪問看護師のためのカスタマーハラスメント・リスクマネジメント：15名
 - 管理者研修 5回
 - ① 5/31 「訪問看護における倫理的課題と展望」参加者：20名
 - ② 7/12 長崎県の在宅医療の現状と展望：12名
 - ③ 10/5 スタッフと共に成長する人材育成：20名
 - ④ 10/18 訪問看護の経営戦略について：19名
 - ⑤ 12/20 労働安全・衛生管理について：13名
 - ・訪問看護ステーションの管理者への支援
 - ・「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」活用の広報・周知
 - iii 事業推進
 - ・訪問看護サポートセンター事業企画運営委員会 2回/年：6/30・3/9
 - ・訪問看護の普及啓発
 - ・8/5 看護への道フェア 訪問看護ステーションとブース協力参加
 - ・12/7 看護のお仕事フェア（県庁）ブース参加 来所者25名
- ②人材育成
- a 認定看護管理者教育課程・新人教育担当者研修・訪問看護管理者研修・スキルアップ研修会・特定行為研修等受講・訪問看護師養成講習・精神科訪問看護研修・実習指導者講習会特定分野等受講・主任介護支援専門員更新研修・ICTを活用した在宅看取りに関する研修推進事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」
 - b 訪問看護師キャリアラダーの活用
 - c 新人看護職者入職時：「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」の活用
 - d 事業毎の事例検討等の勉強会開催：訪問看護4回/年、居宅介護支援2回/年、訪問介護1回/年
 - e 関係団体との連携・研修・講義・実習への協力
 - ・6/14・15第7回日本在宅医療連合学会：ポスター発表2例・シンポジスト4名
- ③人材確保
- a 各事業所でのヘルシーワークプレイスの継続・実践・評価
 - b 職員の離職防止・活躍推進 6月・12月所長と職員面談、12月全職員と部長面談
 - c ナースセンター、ハローワークとの連携
 - d 高校生ふれあい看護体験受入れ：各支部との連携
 - e 訪問看護ステーションにおけるインターンシップ受入れ（諫早2名）
 - f 新卒看護職者受け入れ体制整備
 - g 新卒入職者の確保に向けてPR
 - ・8/5 看護への道フェア 参加協力 来所者85名
 - ・12/7 看護のお仕事フェア（県庁）ブース3名参加 来所者25名
- ④地域住民への在宅療養に関する周知・啓発
- a 地域住民に向けたサロン会等の出張相談・健康増進の情報提供
 - ・ケアプランセンター諫早：いきいきサロン（諫早市中尾地区）
 - b ホームページの見直し・活用
 - c 「まちの保健室」への協力：ケアプランセンター諫早4月～2月：1回
- (3)関連団体との連携・協力
- ①訪問看護ステーション連絡協議会
 - ②日本看護協会及び日本訪問看護振興財団関係団体、行政等
- (4)県民の健康増進に向けた看護職連携構築の推進
- ①「医療的ケア児」の在宅移行支援（県委託事業）
 - a 病院・周産期医療センター看護職支援（在宅に向けた支援・連携に関する研修会・交流会）
2/28 シンポジウム「小児の訪問看護～小児を受け持つためのアイデアと実践～」ハイブリッド開催
参加者62名（会場26名、オンライン36名）

事業内容

- b 小児訪問看護の推進(訪問看護師の研修、希望するステーションの取り組み支援)
 - 9/6 オンライン研修
「NICU等における在宅移行支援の実際」「小児の在宅医療の現状と展望について」「小児訪問看護の実際」参加者29名
 - 「小児訪問看護 同行訪問研修」10～12月 参加者2名
- c 学校・保育所等における医療的ケア児に関わる看護師の研修
 - 7/24 「医療的ケア児等の緊急時の対応」「心肺蘇生」参加者79名(会場41名、オンライン38名)
 - 10/17 オンライン研修「重症心身障害児とその家族の意思決定支援」参加者40名
 - 11/18 「重症心身障害児・者の呼吸管理とリハビリ」参加者39名
- d 離島地域で研修会を1回開催する(対馬)
 - 11/8 「重症心身障害児・者の病態生理」「吸引・経管栄養」場所:長崎県対馬病院 参加者4名
- ②各支部における看護職連携構築ネットワーク推進会議の継続支援
 - a 県南・県央・県北の3支部で継続開催
 - b 支部長会議での情報共有・協議
 - c 行政保健師、多職種への働きかけ

4-2) 在宅・福祉施設看護職員の連携推進

- (1)交流会等の開催
 - ①看護師職能委員会活動[再掲]
 - ②安全管理委員会における研修会・交流会[再掲]
- (2)継続教育支援
 - ①研修センター及び看護キャリア支援センター事業による研修会
 - ・長崎県看護職員認知症対応力向上研修会(再掲)
 - ・介護施設等の看護実務者研修(再掲)
 - ・福祉施設等に働く看護職の研修(再掲)

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業(公益目的事業)

事業内容

5. 健康相談、健康講座の開催

- (1)各支部による「まちの保健室」の実施
 - ・各支部事業報告参照
- (2)住民対象の講座等の開催
 - ①出前講座等
 - a 専門・認定看護師等の活用
 - b 看護の出前授業(再掲)
 - c 助産師の性教育セミナー(再掲)
 - ②地域住民への公開講座
 - a 地域イベント等への参加
 - ③地域住民の自主活動支援、ボランティア活動支援
- (3)相談事業等の推進
 - ①各支部開催の常設型・巡回型「まちの保健室」(再掲)
- (4)会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進
 - ①広報出版委員会開催 2回/月(20回)
 - a 会報誌の発行 3回/年
 - ・会報95号(4月) 会報96号(9月) 会報97号(1月)
 - b 会報作成のための取材活動
 - ②協会だより・ホームページの充実
 - ③日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用
 - ④SNSの導入・活用(LINEの導入)
 - ・公式LINE開設(6月) 週1回程度情報配信
 - お友だち登録409名(R8.3現在) 協会だより、ホームページにQRコード掲載、研修時QRコード配付
 - ⑤マスコミ等の活用
 - ⑥協会周知のためのリーフレット作成・配布
 - ・業務案内パンフレット作成・配布
 - 6/21(土)総会参加者へ配布 協会だより7月号に同封(施設のみ)

事業内容

- (5)一般住民向け広報活動の推進
 - ①ホームページ「県民の皆様」への活用：協会案内パンフレット、看護の心普及ポスター等の活用
 - ②活動広報パンフレット等の配布
 - ③地域広報誌、マスコミ等の積極的活用
- (6)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進
 - ①支部における看護の日記念行事等の実施 看護週間 5/11～5/17
・5/10（土）（一部他日程あり）支部計画参照
- (7)「看護の心」普及事業（次世代育成）
 - ①中学生・高校生の一日ふれあい看護体験広報・周知の拡大
 - ②進路指導・相談（再掲）
 - a 看護師等学校・養成所への訪問・就業説明
 - b 看護職合同就職説明会への参加（再掲）
 - ③看護の出前授業（対象：小学・中学・高校）（再掲）
 - ④2025看護への道フェア（再掲）
- (8)「長崎県職場の健康づくり応援事業」への協力（再掲）

6. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業）

事業内容

6-1) 災害時の看護支援活動に関する事業

- (1)災害看護委員会開催 1回/月（13回）
 - ①災害支援ナース登録者の確保
 - ・災害支援ナース養成研修 10/15演習災害編で講師、ファシリテーターとして研修参加
災害支援ナース養成研修修了者27名、災害支援ナース名簿登録者105名
 - ②災害支援ナースの啓発活動の強化
 - ・協会だより、ホームページ、会報誌により情報提供
 - ・「2025看護への道フェア」2名参加協力
 - ③実践力維持・向上のための災害看護研修・交流会の実施
 - ・災害支援ナース交流会開催 日時：7/5（土）参加者31名（委員含む）
テーマ：演習を通して、災害派遣に備えることができる～災害をイメージし防災につながる行動がとれる～
内容：避難所運営ゲーム（HUG）、災害時の感染管理について
- (2)日本看護協会及び行政、他機関等との連携、協力
 - ①災害支援ナース派遣調整合同訓練 参加なし
 - ②長崎県総合防災会議・訓練等への参加
 - ・西彼保健所災害時健康危機管理訓練参加 1/29（3名参加）
 - ・長崎JRAT養成支援研修講師派遣 2/21（災害支援ナース3名、役員1名）
- (3)災害支援体制の整備
 - ①災害支援体制及びマニュアル等の整備
 - ②協会内の机上シミュレーションの実施
 - ③訓練実施後の体制及びマニュアル等の評価、見直し
 - ④災害物資の備蓄
 - ⑤災害用備品・物資の点検補充（10月実施済）
- (4)地域の健康危機管理体制の構築《重4》
 - ①新興感染症拡大及び災害発生時における体制整備
 - ・会員施設との連絡調整
 - ・県災害対策本部との連携
 - ・病院・施設における医療・介護提供体制の情報収集
 - ・行政・他団体との連携強化
 - ・医療逼迫時の求人対応
 - ②BCP策定と周知《重4》
 - ・R8.3月 公益社団法人長崎県看護協会事業継続計画（BCP）策定
第6回理事会へ報告、ホームページにて公表

事業内容

6-2) 日本看護協会との連携に関する事業

(1) 会議・委員会等への参加

- ① 令和7年度代議員研修会
・ 5/17 出席者（代議員9名、予備代議員7名、他5名）
- ② 日本看護協会総会（6/11）千葉幕張メッセ 代議員10名、表彰者1名参加
・ 全国職能交流集会（6/12）
- ③ 理事会（6回／年）5/9、6/11、7/24・25、9/19、11/27・28、2/19・20（オブザーバー出席）
- ④ 法人会会員 5/9、7/25、9/19、11/28、2/20（オブザーバー出席）
- ⑤ 都道府県職能委員長会
- ⑥ 九州地区別法人会会員会・職能委員長会（10/23、24開催 大分県）
- ⑦ 各種担当者会議
・ 都道府県看護協会看護労働担当者会議（7/17）
・ 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会（7/30）
・ 都道府県看護協会政策責任者会議（9/18）
・ 都道府県看護協会図書室担当者研修会（10/7）
・ 都道府県看護協会広報担当役員会議（11/19）
・ 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（11/13）
・ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議（12/17）
・ 全国看護基礎教育担当役員会議（3/13）
・ 公益法人運営に関する勉強会（7/16、2/2）

(2) 日本看護協会令和7年度重点政策・重点事業推進に向けての長崎県協会事業内容

／日本看護協会重点課題・基盤強化事業・SDGs実現に向けた取組み

1. 重点政策・重点事業・SDGs目標

① 全世代の健康を支える看護機能の強化

《 1. 看護提供体制の構築 2. 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取組み 3. 地域における看護職の確保と活躍推進 》

- ・ 保健師・助産師・看護師の確保活躍推進

② 専門職としてのキャリア継続の支援

《 1. 看護職の働き方改革の推進 2. 看護職のキャリア構築支援 3. 看護師の生涯学習支援体制の構築 》

- ・ ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及
- ・ ICT活用による看護業務の効率化の推進
- ・ あらゆる場で働く看護職に求められる研修の実施とキャリア支援
- ・ 中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援
- ・ あらゆる領域で多彩な研修企画・提供（研修計画）
- ・ 昨年度に引き続き看護職の生涯学習ガイドラインの普及

③ 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

《 1. 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関する事業 2. 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進・資格認定者の養成戦略の検討 》

- ・ タスク・シフト/シェアの推進
- ・ 特定行為研修修了者の活躍支援

④ 地域の健康危機管理体制の構築

《 1. 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備 2. 本会のBCP（事業継続計画）の策定 》

- ・ 新興感染症における会員施設との情報共有
- ・ 新興感染症に対応する看護職の負担軽減
- ・ 自然災害における会員施設との情報共有
- ・ 災害支援ナース登録の推進
- ・ 本協会のBCP策定と周知

2. 重点課題

- ① 准看護師養成の停止
- ② 看護師基礎教育の4年制化
- ③ ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築

3. 基盤強化事業

- ① 会員の確保
- ② 組織基盤の強化

4. SDGs実現に向けた取組み

「日本看護協会SDGs宣言」を行い、令和4年度以降、SDGsの実現目標年度である2030年までの間、日本看護協会の重点政策をSDGsの3つの目標と関連付けて取り組む

7. 施設の貸与事業（公益目的事業／収益に関する事業）

事業内容
<p>7. 貸事務所・貸室に関する事業</p> <p>(1)ながさき看護センターの貸室運営</p> <p>①建物賃貸（関連団体等）・長崎県看護連盟</p> <p>②会議室、研修室等の貸出・県関連、関連団体等への貸出</p> <p>・貸出状況 県関係13件、県以外団体116件、看護キャリア支援センター53件、看護連盟10件</p> <p>※貸出件数192件のうち公益目的貸出118件</p> <p>※近隣団体への駐車場貸出10件</p>

8. 公の施設の管理・運営事業（公益目的事業）

事業内容
<p>8. 長崎県看護キャリア支援センターに関する事業 ※しまWEB…□離島就業看護職員に向けた配信研修</p> <p>(1)復職・就業支援、福祉施設支援</p> <p>①復職支援研修：9回/年 各4日間（諫早市・佐世保市）</p> <p>第1回4/9～30（4名） 第2回5/7～28（7名） 第3回6/4～25（2名） 第4回7/2～23（6名）</p> <p>第5回9/3～24（4名） 第6回10/1～22（5名） 第7回12/4～24（3名） 第8回1/7～28（12名）</p> <p>第9回2/4～25（7名）</p> <p>②医療施設等体験研修</p> <p>病院（1名）</p> <p>③プラチナナース研修：2回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）</p> <p>第1回10/24（5名） 第2回1/16（14名）</p> <p>④福祉施設等への出張研修：20施設/年</p> <p>申込数12件：県南地区3件 県央地区3件 県北地区6件</p> <p>実施終了件数：12件（200名）</p> <p>(2)院内教育体制の充実支援</p> <p>①新人看護職員研修：4回/地区（諫早市・佐世保市）</p> <p>県南・県央地区 第1回5/8（42名） 第2回5/16（50名） 第3回5/23（28名） 第4回5/30（26名）</p> <p>県北地区 第1回5/8（19名） 第2回5/13（19名） 第3回5/20（19名） 第4回5/27（19名）</p> <p>②新人看護職員交流会：4回/年（諫早市）</p> <p>第1回5/8（63名） 第2回6/30（62名） 第3回9/30（47名） 第4回1/30（74名）</p> <p>③新人看護職員指導者研修：5日間（諫早市・佐世保市）</p> <p>9/1～19（59名）（研修責任者：8名 教育担当者：31名 実地指導者：20名）</p> <p>④長崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（eラーニング・諫早市・佐世保市）</p> <p>eラーニング：6/1～9/30 集合研修：11/13～12/12 23日間（30名）</p> <p>⑤特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会：7日間（諫早市） 9/6～10/11（7名）</p> <p>⑥看護教員・施設教育担当者研修：4回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）</p> <p>第1回8/2（23名） 第2回8/7（26名） 第3回8/21（17名） 第4回9/28（16名）</p> <p>⑦看護研究に関する支援 4～3月（11名）</p> <p>⑧看護スキルアップ研修：10回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）</p> <p>第1回6/14（29名） 第2回6/28（48名 うち18名□）</p> <p>第3回7/5（20名） 第4回7/19（57名 うち19名□） 第5回7/26（50名 うち17名□）</p> <p>第6回8/2（42名 うち12名□） 第7回8/9（24名 うち6名□） 第8回8/23（56名 うち18名□）</p> <p>第9回8/30（39名 うち13名□） 第10回9/13（63名 うち25名□）</p> <p>⑨模擬患者派遣事業 依頼数3件：県央地区1件 県北地区2件</p> <p>(3)医療機関と教育機関の連携支援</p> <p>①看護学生と看護職員との交流会</p> <p>第1回 県南・県央地区7/25（39名） 県北地区7/1（56名）</p> <p>第2回 県南・県央地区3/10（31名） 県北地区3/9（50名）</p> <p>②実習指導者講習会修了者・関係者等の交流会：1回/年（諫早市） 6/7AM（27名） PM（51名）</p> <p>(4)その他</p> <p>看護技術研修支援 貸館・シミュレータ無料貸し出し</p> <p>(5)求職相談事業</p> <p>①求職、求人、届出制、その他就業に関する相談：4～3月</p> <p>求職者延べ数140名 求人延べ数201名 就業者数（健診・救護含む）105名</p>

事業内容

- ②ハローワーク出張相談：1回/月、事業所ミニ面談会：4回/年
- ③未就業者への研修案内等
- ④看護職員合同就職説明会（県主催）への参加
- ⑤長崎県ナースセンター業務連絡会：6回/年、長崎県ナースセンター運営委員会：2回/年
- ⑥ナースセンターとの連携
- ⑦ハローワークとの連携：看護補助者セミナー（ハローワーク主催）
12/2（21名、就業者1名） 3/3（23名：就業者0名）
- (6)貸室及び会館管理に関すること
佐世保市老人福祉施設連絡協議会1件 佐世保市立看護専門学校56件 長崎県看護協会県北支部5件
長崎県訪問看護サポートセンター1件 日本ACLS協会1件 長崎認定看護管理者会1件 長崎県医師会1件
- (7)広報
 - ①ホームページ運営
 - ②広報誌掲載
 - ・イオン（東長崎・時津・有家）ポスター掲示
 - ・自治体広報誌（平戸・川棚・時津・佐世保・松浦・佐々・長崎・対馬・五島・新上五島・西海・大村・南島原・島原・長与・雲仙・波佐見・諫早）
 - ・つたえる県ながさき
 - ・8/11 FMラジオ放送 とどける県ながさき
 - ・8/14 長崎新聞掲載
 - ・10/31 11/14 11/28 12/12 1/1 読売新聞掲載
 - ・3/18 ととってmotto掲載
- (8)施設管理
 - ①建物・機器等の管理、運営
 - ②保守・修繕
- (9)事業運営の充実に向けた活動
 - ①運営委員会の開催 2回/年
第1回4/28 第2回12/22
 - ②関係会議への参加
 - ③職員の資質向上

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（収益事業等／法人管理に関する事業）

事業内容

9-1) 会員支援に関する事業

- (1)会員の福利厚生 of 充実
 - ①各受賞者等の推薦、表彰、慶弔・災害見舞等
 - ・叙勲（瑞宝双光章）小淵美樹子
 - ・日本看護協会会長表彰 小淵美樹子
 - ・看護事業功労者知事表彰 金子和美、小淵美樹子、中村清美
 - ・長崎県看護協会名誉会員 上田美知恵、小川由美子、副島都志子
 - ・長崎県看護協会会長表彰39名（令和7年度総会要綱p207参照）
 - 弔意
 - ・令和7年12月5日 故犬塚晴美（昭和会病院）[享年63]
 - ・令和7年12月17日 故横田ツヤ子（長崎県看護協会名誉会員）[享年84]
 - ・令和8年3月8日 故岩永かおり（介護老人保健施設長寿苑）[享年55]
 - ②会員特典の周知
 - ・令和7年度総会要綱p205に掲載、ホームページにて周知
- (2)相談窓口の設置
 - ①相談対応、情報提供

事業内容

9-2) 渉外活動

- (1)重点事業に関する渉外活動
 - ①県・市町等行政への要望活動 ・8/26 長崎県へ要望書提出
 - ②行政・関係機関の審議会等への委員派遣・推薦
 - a 各委員会・支部等との連携
- (2)関連団体等との連携
 - ①構成団体としての活動
 - a 長崎県看護連盟
 - b 子どもを守る「ひまわりプロジェクト（女性たちのネットワーク）」及び市民団体等
 - ②関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣
 - a 有識者等との情報交換並びに協力
 - b 後援・推薦・協賛等依頼への協力等
・後援承諾39件

9-3) 訪問型病児・病後児保育事業の推進（雲仙市補助事業）

- (1)病児・病後児保育推進委員会活動
 - ①委員会開催 1回/月（12回）
訪問実績 27件（4～3月）
- (2)病児・病後児保育サポーターの研修
 - ①サポーター連絡会 4/17 13名
 - ②サポーター研修会 10/27 25名
 - ③全国病児保育研究大会in愛知 7/20・21 1名参加
- (3)病児保育事業の運営・周知
 - ①利用者とサポーターとの交流会 5回/年（4月：35名、6月：24名、10月：23名、12月：25名、2月：17名）
 - ②ホームページ等による広報
 - ③小児科医院、クリニック訪問 5月：9件
- (4)雲仙市及び雲仙市内病児保育実施施設との情報交換
 - ①雲仙市病児保育協議会参加 7/2、3/9
 - ②ほけんだよりの発行（3回/年発行の内、1回担当）秋号発行（10/1）

9-4) 法人管理に関する事業

- (1)公益法人事業の推進
 - ①定款、定款施行細則等の遵守ならびに諸規則の改定
 - a 定款・計画・実施との整合
 - ②事業執行・運営体制の強化
 - a 県・支部事業のスムーズな連携、運営
 - b 役職員教育
 - ③報告書類等の作成・管理
 - a 定期提出書類及び変更届等適正な事務報告
・6/29 定期提出書類（事業報告等）提出
・3/31 定期提出書類（事業計画）提出
- (2)諸会議の円滑な運営
 - ①通常総会 ・6/21(土) 通常開催
出席者7,788名（一般参加264名（支部会場44名含む）役員等92名 委任状7,432名）
 - ②理事会 ・4回以上/年 5/17、7/26、9/20、11/15、1/17、3/21
 - ③業務執行理事会 ・1回以上/月 18回開催
 - ④推薦委員会 ・必要時開催
 - ⑤選挙管理委員会 ・必要時開催
- (3)事業等の円滑な運営
 - ①事務局体制整備 ・事業部長会1回/月
 - ②事業部運営委員会 ・各事業部2回/年
 - ③事業・会計監査 ・2回/年 5/13（令和6年度全期） 11/11（令和7年度上半期）
 - ④支部長会 理事会後開催（5回/年）3回開催
 - ⑤支部事業運営に関する会議等の開催 支部事業報告参照
 - ⑥支部事業活動の支援
 - ⑦日本看護協会との連携

事業内容

(4)会員の入会促進と管理（個人情報保護法遵守）《基盤強化事業》

①入会促進

・令和7年度会員数9,345名（令和6年度会員数9,567名）

a 入会案内の検討

b 支部（会員委員会等）の活動による

②新人看護職員等への周知と入会促進

a 看護キャリア支援センターとの連携

③育児休暇中の看護職を対象にした「職場復帰に向けた集い」の開催

12/3開催「かがやけ看護職！ママ&パパ応援セミナー」参加者5名

④看護基礎教育機関の入学・卒業式、講演会への出席

・入学式6校、卒業式8校、卒業記念講演2校

a「入会案内」冊子等の活用

⑤施設訪問、行事等の活用、支部との連携

⑥日本看護協会ナースシップシステムの運用・管理

a 入会の受付業務

b 情報管理

⑦日本看護協会との連携

a 入会促進担当者会議への出席

b 会員マイページ「キャリアナース」について協会だより・研修センターにて周知・登録促進

・キャリアナース登録者4,680名

⑧会員に関する照会への対応

(5)情報セキュリティ・個人情報の安全管理

(6)職員の人事管理・労務管理の充実

①職員の職務分掌と適正配置

②働き方改革法に基づく労働環境の整備

③永年勤続職員の表彰

④職員研修会の開催・1回/年程度

・10/28開催「リスクマネジメントセミナー（カスタマーハラスメント対応）」参加者86名（オンライン含む）

・2/16開催 衛生委員会研修 参加者23名（オンライン含む）

長崎県職場の健康づくり応援事業オンラインセミナーを利用 テーマ：「今日からできる職場のメンタルヘルスケア」

講師：山下 美和子（保健師）

⑤福利厚生

⑥衛生委員会の開催・1回/月、全体会1回/年 2/12開催

9-5) 施設管理に関する事項

(1)ながさき看護センター及び別館の管理

①建物・機器等設備の管理、運営

a 警備、清掃、管理等

②保守・修繕

a 長期修繕計画に基づき実施

b 防災訓練等の実施（1回/年以上）12/2

③駐車場の保守・管理

(2)長崎会館の管理

①長崎会館解体に向けた諸準備

県南支部事業報告

※支部事業報告は、定款第4条の9つの事業のうち、該当する事業1、事業3、事業4、事業5、事業9にそって報告。下線は新規事業

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)2年目看護職員交流会 開催日：11/7 テーマ：看護過程の実践活用 講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻看護実践化学分野 教授 黒田裕美 場所：長崎タクシー会館4階大会議室 参加者：8施設 23名 (2)病院・施設・在宅看護職員交流会 開催日：2/14 テーマ：病院・施設・在宅の現場で働く看護職の連携と情報共有 講師：社会福祉法人さゆり会 ショートステイ女神乃里 施設長 大町 由里 場所：長崎タクシー会館4階大会議室 参加者：13施設 16名
2) 県南支部看護実践報告会 開催日：12/6 場所：長崎県立大学シーボルト校大講義室 内容：16演題発表 参加者：21施設 103名
3) 委員会の開催 (1)教育委員会（8回開催） (2)看護実践報告会委員会（8回開催）

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1)施設代表者交流会の開催 開催日：10/4 場所：長崎タクシー会館4階大会議室 テーマ：看護職の生涯学習について 内容：話題提供（県看護協会 木下副会長） 参加者：17施設 27名

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた会議、交流会等の開催 (1)地域包括ケアに関する看看連携交流会（長崎市包括ケアまちなかラウンジとの共同開催） 開催日：1/24 場所：長崎市医師会看護専門学校3階自己学習室 テーマ：地域包括ケアシステムを深化・推進するための多職種連携 ～多職種連携の現状と課題～ 内容：話題提供 長崎市福祉部地域包括ケアシステム推進室 係長 高西 真美 長崎市地域包括支援センター連絡協議会 会長 榊 寿恵 長崎市包括ケアまちなかラウンジ 主幹 宮地 登代子 参加者：43施設 46名

(2)長崎市地域包括ケアシステム推進室との意見交換会（共催）

開催日：9/18（南部）、10/15（中央部）、10/30（北部）、12/13実施報告送付

(3)西彼地区の地域包括ケアに関する意見交換会

2) 地域交流推進活動

(1)「元気なうちから手帳」の普及活動 「看護の日」記念行事での配布 5/10 271冊配布

3) 自治体が開催する地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容

1) 健康相談、健康講座の開催

(1)まちの保健室の開催（地域イベントでの開催）

①長崎市健康づくり課主催「元気が一番たい！春の健康まつり」

開催日：5/11

場 所：長崎市民会館

参加者：参加市民113名

内 容：血圧測定、血管年齢測定

②長与町主催体験型健康づくりイベント「知っ得・納っ得・測っ得」

開催日：3/8

参加者：420名 プース利用者数：213名

場 所：長与町民体育館

2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1)「看護の日」記念行事の開催

開催日：5/10

テーマ：「看護の心をつなげよう！」

場 所：長崎市ベルナード観光通

内 容：看護の仕事紹介パネル展示、三角巾の利用法体験、AED心肺蘇生の実技体験、健康チェック、進路・就業相談、元気なうちから手帳の配布、まちの保健室

参加者：約420名

(2)ふれあい看護体験の実施（集合による交流会）

開催日：11/22

場 所：長崎タクシー会館4階大会議室

講 師：長崎みなとメディカルセンター救急看護認定看護師 石井美保子、副看護師長 井本真由美、クリティカルケア特定看護師 鶴泰輔

参加者：6校 69名

2) 委員会の開催

(1)まちの保健室委員会（7回開催）

(2)看護の日委員会（12回開催）

3) 広報活動

(1)支部だより（協会会報に掲載）年3回（NO.95、NO.96、NO.97、NO.98）

(2)協会ホームページ内「県南支部活動」ページ更新（9回更新）

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事業内容

1) 渉外活動

(1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣
P.197参照

2) 支部運営に関すること

(1)運営委員会（12回開催）

(2)新旧合同委員会

開催日：6/14

場 所：長崎タクシー会館4階大会議室

参加者：委員59名

3) 会員の入会促進

県央支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)2年目新人看護師交流会 開催日：10/18 内 容：グループワーク（2年目の悩み、クリニカルラダー1への取組み準備、目指す看護師像について話し合う（看護観重視）） 場 所：ながさき看護センター 参加者：41名（委員含む） (2)支部看護研修交流会（年1回） 開催日：12/13 内 容：講演「看護で伸ばせる命がある」、グループワーク「事例を通して看護の本質を（日常生活行動支援）を考える」 講 師：(株)ナースエナジー 代表取締役 亀井紗織 参加者：60名（スタッフ11名含む） 2) 支部情報交流会（年1回）《重1-2》 開催日：2/28 内 容：施設、学校、小集団活動より8事例の発表 場 所：ながさき看護センター 参加者：53名（発表者8名、スタッフ12名含む）

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1)施設代表者交流会の開催（年2回） ①開催日：7/5（土） テーマ：看護職の生涯学習について 内 容：木下副会長による説明、「各施設の看護職確保対策、離職防止対策」についての意見交換、等 参加者：32名（協会執行部4名、スタッフ5名含む） ②開催日：12/13（土） 内 容：研修計画書の3事例（訪問看護ステーション寧彩、池田病院、県央支部）について 参加者：16名（協会執行部2名、スタッフ5名含む）

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた会議、交流会の開催 (1)県央支部多職種連携 会議の開催（年1回） 打合せ会議（オンライン、9/19 4名、11/7 4名、12/19 4名） 開催日：1/31 内 容：話題提供（話題提供者3名）、グループワーク テーマ：超重症者の在宅看取りを支えた多職種連携 参加者：70名（スタッフ5名、発表者3名含む） (2)保健所、市町の看護職（行政保健師）、地域包括支援センター等保健師との連携構築 2) 自治体が開催する地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容

1) 健康相談、健康講座の開催

(1) まちの保健室の開催

① 定期開催

・ 諫早地区

開催日：奇数月第2土曜日

場 所：西諫早公民館

参加者：7/12 5名（従事者2名）、9/13 10名（従事者1名）、11/8 8名（従事者2名）

1/10 10名（従事者2名）、3/14 18名（従事者2名）

内 容：健康相談、血管年齢測定、血圧測定等

・ 大村地区

開催日：偶数月第3土曜日

場 所：長崎県立図書館

参加者：6/21 33名（従事者3名）、8/17 35名（従事者3名）、10/18 30名（従事者2名）

12/20 27名（従事者3名）、2/21 36名（従事者3名）

② 地域イベント等での開催

・ 開催日：10/5（日）ピンクリボン行事にて 参加者：約100名（従事者3名）

・ 開催日：11/2（日）おおむら健康ふくしまつりにて 参加者：179名

・ 開催日：11/9（日）愛のまち文化フェスティバルにて 参加者：105名（従事者3名）

・ 開催日：11/9（日）糖尿病の集い 参加者：41名

・ 開催日：11/23（日）いさはや健康フェスティバルにて 参加者：82名

・ 開催日：11/23（日）健康しまばら福祉まつり 参加者：127名

・ 開催日：1/25（日）諫早ボランティアフェスティバル 参加者：14名

・ 開催日：2/15（日）いさはや女・男フォーラム 参加者：13名

(2) 地域イベント等への参加、支援

・ 島原地区花火大会 救護（8/28）1名

・ のんのご諫早まつり 救護（9/14・9/15）24名

・ 子供のスポーツ大会 救護（9/15）1名

・ よらんね祭り 救護（11/2）4名

・ いさはや障がい者福祉大会 救護（12/6）2名

・ 産業まつり 救護（12/7）2名

2) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1) 「看護の日」記念行事の開催

開催日：5/10（土）

場 所：ながさき看護センター

内 容：講演Ⅰ「災害から備えを学ぶ」講師：日本災害士会長崎県支部 防災士 川浪良次

講演Ⅱ「災害支援ナースって知っていますか？」講師：宮崎病院 辻林玲美

「災害支援者のメンタル支援について」講師：長崎県精神医療センター 荒木直人

高校生のふれあい看護体験発表（6名）、看護体験掲示、県内看護学校、大学の掲示、県央支部内施設紹介、まちの保健室

参加者：210名（スタッフ含む）

(2) ふれあい看護体験の実施

開催日：7/29（火）

場 所：県央支部内32施設

参加者：14校 129名

3) 広報活動

(1) 支部だより（協会会報に掲載）年3回（NO.95、NO.96、NO.97）

(2) 協会ホームページ内「県央支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事業内容
1) 渉外活動 (1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣 P.198参照
2) 支部運営に関する事 (1)運営委員会 月1回 (12回開催) (2)拡大委員会 (年2回) ①開催日：4/17 場所：ながさき看護センター 参加者：46名 ②開催日：6/28 場所：ながさき看護センター 参加者：50名
3) 会員の入会促進 (1)会員増加に向けてポスターの配布 (2)看護学校の入学式、卒業式への出席

県北支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)2年目看護職員交流会 開催日：8/30（土） テーマ：看護師としてのキャリア形成～自信をもって看護を実践する～ 講師：佐世保共済病院 看護部次長 真辺保美 参加者：6名

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1)施設職員交流会の開催（年1回） 開催日：10/4（土） テーマ：認知症患者の看護～身体抑制をしない看護～ 講師：佐世保中央病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 日和田正俊 参加者：13名 (2)施設管理者交流会の開催（年1回） 開催日：11/22（土） 内容：県協会から話題提供 「看護職の生涯学習ガイドライン-JNAコンテンツ 組織で行う生涯学習支援の基礎知識-」について 「看護職賠償責任保険」について 講師：長崎県看護協会 副会長 木下日出美、専務理事 余里康子 参加者：20名

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修等の開催 (1)看護職連携構築ネットワーク会議の開催（年1回） 開催日：2/28（土） テーマ：地域で看取るための連携構築～各施設・事業所における役割とできる連携を考える～ 講師：社会医療法人財団 白十字会 地域包括ケア推進本部 課長 桃田美智 参加者：26名 2) 自治体が開催する地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)まちの保健室の開催（地域イベント等での開催） ①平戸市健康福祉まつり 開催日：10/26（日） 場所：平戸文化センター 内容：血圧測定、血管年齢測定、健康相談など 参加者：164名 ②デンタルフェスティバル 開催日：6/8（日） 場所：佐世保市まちなかコミュニティセンター・三ヶ町アーケード

内 容：血圧測定、血管年齢測定、乳がん触診体験、健康相談など

参加者：123名

(2)地域イベント等への参加、支援

2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1)「看護の日」フェスタの開催

開催日：5/10(土) 場 所：十八親和銀行本店正面玄関前広場(佐世保市四ヶ町アーケード内)

内 容：聴診器体験、高齢者疑似体験、車いす試乗体験、血中酸素濃度測定体験、白衣試着体験(記念撮影付)、福祉用具展示、まちの保健室開催

参加者：約120名(委員含む)

(2)看護週間に支部会員がバッジ着用 5/11～5/17

(3)ふれあい看護体験の実施(集合による交流会)

開催日：10/18(土)

場 所：長崎県看護キャリア支援センター

内 容：現役看護師による体験談の話題提供、看護技術体験(バイタルサイン測定、シーツ交換等)、進路相談

参加者：5校 15名

3) 広報活動

(1)支部だより(協会会報に掲載) 年3回

(2)協会ホームページ内「県北支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事業内容

1) 渉外活動

(1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣

P.198参照

(2)歳末助け合い募金への協力

県北支部各施設から総額179,765円の寄付 12月

市社会福祉協議会、日本赤十字社長崎県支部など5団体へ寄付

2) 支部運営に関すること

(1)各運営委員会の開催

①支部運営委員会 11回開催

②教育運営委員会 11回開催

③事業運営委員会 11回開催

④総務運営委員会 11回開催

⑤職能運営委員会 8回開催

⑥会計運営委員会 12回開催

3) 会員の入会促進

(1)看護学校入学式、戴帽式、卒業式等への出席

・佐世保市立看護専門学校 卒業式 3/7

(2)非会員施設へ支部活動掲載リーフレットを配布 17施設へ6/30発送

下五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)下五島支部交流会 開催日：6/28 (土) 場 所：五島中央病院2階講義室 テーマ：「緩和ケア～患者の希望への関わり～」 講 師：長崎県五島中央病院 緩和ケア認定看護師 中口輝美 参加者：15名 (2)離島間通配信交流会 開催日：9/27 (土) 場 所：長崎県五島中央病院 2階講義室 ※壱岐支部からの配信 テーマ：「看護職の生涯学習ガイドライン」 講 師：長崎県看護協会副会長 木下日出美 参加者：14名

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1)三職能合同交流会への参加 (年1回) (県協会より配信) 開催日：6/21 場 所：長崎県五島中央病院 2階講義室

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事

事業内容
1) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席 ・五島市地域包括支援センター等運営協議会 8/21 ・五島保健所地域・職域連携推進協議会 10/16 ・五島地域保健医療対策協議会 1/27 ・五島区域地域医療構想調整会議 (書面)

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業 (公益目的事業)

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)まちの保健室の開催 (地域イベント等での開催) ①「救急の日」イベント 開催日：9/9 場 所：五島シティモール 内 容：健康相談、血圧測定、グッズ配布など 参加者：32名 ②農業まつり (ごとう農協主催) 開催日：11/29 場 所：ごとう農業組合本店 内 容：血圧測定、塩分測量体験、健康相談、グッズ配布 参加者：34名

- ③健康まつり（五島中央病院主催）
開催日：12/6 場 所：五島中央病院
内 容：血圧測定、健康相談、グッズ配布
参加者：77名

(2)地域イベント等への参加、支援

- ①五島長崎国際トライアスロン大会 メディカルスタッフ派遣 令和7年5月29日
「五島長崎国際トライアスロン大会」メディカルスタッフ事前協議会出席
「五島長崎国際トライアスロン大会」メディカルスタッフ反省会出席
- ②五島つばきマラソン救護スタッフ派遣 令和8年3月1日

2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1)「看護の日」記念事業の開催

- 開催日：5/10 場 所：ごとう農業協同組合「産直市場 五島がうまい」
内 容：血圧測定、健康相談、手指消毒の手順指導、記念グッズの配布

(2)ふれあい看護体験の実施

- 開催日：8/6
場 所：長崎県富江病院
内 容：バイタルサイン測定、病室の環境整備、院内見学（薬局・検査室・外来）、リハビリテーション実習、患者とコミュニケーション、配膳・食事介助体験
参加者：2校 3名

3) 広報活動

- (1) 支部だより（協会会報に掲載） 年3回
- (2) 協会ホームページ内「下五島支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事 業 内 容
1) 渉外活動 (1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣 P.199参照 2) 支部運営に関すること (1)運営委員会の開催（月1回） 11回開催 3) 会員の入会促進 (1)入会案内冊子、しまで活躍するナースたち、等の配布

上五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)上五島支部交流会 開催日：7/17（土） 場 所：長崎県上五島病院（オンライン） テーマ：「皮膚排泄ケアのきほん スキンケアを見直そう」 講 師：長崎県看護協会訪問看護ステーション 皮膚排泄ケア認定看護師 松尾愛 参加者：46名（非会員、高齢者施設看護介護スタッフ10名含む） (2)離島間通配信交流会 開催日：9/27（土） 場 所：長崎県上五島病院 ※壱岐支部からの配信 テーマ：「看護職の生涯学習ガイドライン」 講 師：長崎県看護協会副会長 木下日出美 参加者：12名

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)まちの保健室の開催（地域イベント等での開催）5月、6月、8月、3月 ①上五島病院フェスタ&新上五島町健康まつり 開催日：6/22 場 所：長崎県上五島病院 内 容：健康相談、血圧測定、体脂肪測定、手指衛生指導（手洗いチェッカー）、グッズ配布など 参加者：83名 ②北魚目小学校創立150周年記念イベント 開催日：8/10 場 所：地元小学校・中学校体育館 内 容：血圧測定、健康相談、グッズ配布 参加者：5名 (2)地域イベント等への参加、支援 ①上五島トライアスロン大会 9/21 救護員3名 ②上五島涼風マラソン大会 10/18 救護員1名 ③田畑健児ジョギングフェスティバル 11/23 救護員1名 ④新上五島町駅伝フェスティバル 12/4 救護員2名

2) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1) 「看護の日」記念事業の開催

開催日：5/11 場所：メル・カピィあおかた

内 容：「看護の日とは」、「看護職になるには」についてのパネル展示、まちの保健室開催（血圧測定、健康相談、手指消毒の手順指導）、記念グッズの配布

参加者：28名

(2) ふれあい看護体験の実施

開催日：8/8

場 所：長崎県上五島病院

内 容：施設内見学、血圧測定、聴診、血糖測定、感染防護具着用、手指衛生、点滴準備、心電図、包帯ギブス固定、白衣試着体験

参加者：2校 18名

3) 広報活動

(1) 支部だより（協会会報に掲載）年3回

(2) 協会ホームページ内「支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事業内容

1) 渉外活動

(1) 関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣（再掲）
P.199参照

2) 支部運営に関すること

(1) 支部報告会（年1回）6/21

(2) 支部運営委員会の開催（2～3か月毎、臨時的）4回開催

3) 会員の入会促進

(1) 入会案内冊子、しまで活躍するナースたち、等の配布

(2) 新人看護師及び採用者、施設看護職員への働きかけ、入職時オリエンテーションで説明

壱岐支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1) 島内看護職交流会 開催日：7/17 (木) 場 所：長崎県壱岐病院 テーマ：スキンケアについて 講 師：長崎県壱岐病院 皮膚排泄ケア認定看護師 横山操 参加者：41名 (2) 支部交流会 開催日：10/15 (水) 場 所：長崎県壱岐病院 テーマ：感染対策について 講 師：長崎県壱岐病院 感染管理認定看護師 堤真粧美 参加者：43名 (3) 離島間通配信交流会 (壱岐支部より下五島、上五島、対馬支部へ配信) 開催日：9/27 (土) 場 所：長崎県壱岐病院第1会議室 テーマ：「看護職の生涯学習ガイドライン」 講 師：長崎県看護協会副会長 木下日出美 参加者：8名

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1) 看護代表者会の開催

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 自治体が開催する地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席 ・ 壱岐地域保健医療対策協議会 2/24 ・ 壱岐地域リハビリテーション連絡協議会 1/21 ・ 壱岐区域地域医療構想調整会議 8/27 3/18

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1) まちの保健室の開催 (地域イベント等での開催) ① 八日市まつり (看護の日イベントとして) 開催日：5/11 (日) 内 容：血圧測定、骨密度測定、健康相談、グッズ配布など ② こども出島博 開催日：11/1 (土) 内 容：血圧測定、健康相談 参加者：24名

③勝本朝市まつり

開催日：11/2（日）

内 容：血圧測定、健康相談 参加者：55名

(2)地域イベント等への参加、支援

①老岐市産業まつり

②少年剣道大会 救護スタッフ派遣 6/15 2/15 救護人員1名派遣

2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1)「看護の日」記念事業の開催

開催日：5/11（日）場 所：郷ノ浦町八日市会場

内 容：血圧測定、骨密度測定、健康相談、記念グッズの配布

(2)ふれあい看護体験の実施

開催日：7/31

場 所：支部内3施設

内 容：施設内見学、白衣試着、記念撮影、病棟内看護体験（患者さんとの会話、車椅子での散歩、ケア見学）、意見交換会（先輩看護師との対話）

参加者：7名

3) 広報活動

(1)支部だより（協会会報に掲載） 年3回

(2)協会ホームページ内「支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事 業 内 容

1) 渉外活動

(1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣
P.199参照

2) 支部運営に関すること

(1)運営委員会の開催（2ヶ月に1回） 6回開催

3) 会員の入会促進

(1)入会案内冊子、しまで活躍するナースたち、等の配布
(2)新規採用者への協会入会の案内配布

対馬支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会学術集会に関する事業

事業内容
1) 支部主催交流会 (1)対馬支部研修会 開催日：7/12（土） 場 所：長崎県対馬病院2階大会議室（対面講義） テーマ：カンフォータブル・ケアで変わる認知症看護 講 師：特定非営利活動法人カンフォータブル・ケア普及協会 代表理事 南 敦司 参加者：54名（会員29名、非会員25名） (2)離島間通配信交流会 開催日：9/27（土） 場 所：長崎県対馬病院 ※壱岐支部からの配信 テーマ：「看護職の生涯学習ガイドライン」 講 師：長崎県看護協会副会長 木下日出美 参加者：11名 2) 看護研究報告会の開催 開催日：3/7（土） 場 所：長崎県対馬病院 2階大会議室 内 容：看護研修発表会及び研修会 テーマ：研修会 「看護研究のデータ収集と分析方法を学ぶ」 講 師：長崎県精神医療センター 精神看護専門看護師/看護師長 村島正俊 参加者：34名

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業

事業内容
1) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 (1)対馬支部内の病院、施設の看護師間の交流、情報交換会の開催

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 自治体が開催する地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進に係る会議等への出席 (1)対馬市地域包括ケア推進会議 (2)対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 (3)対馬市食育推進会議 (4)地域医療構想調整会議 (5)対馬地域保健医療対策協議会 (6)対馬地域リハビリテーション連絡協議会

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)まちの保健室の開催（地域イベント等での開催） 内 容：健康・介護・看護相談の実施、血圧測定等健康チェック ①看護の日・対馬病院フェスタ 開催日：5/17 場 所：長崎県対馬病院 参加者：156名

- ②国境マラソン 開催日：6/22 参加者：48名
- ③きらきらウォーキング 開催日：4/27 参加者：38名
- ④城下町ウォーキング 開催日：5/11 参加者：26名
- ⑤食育フェスタ 開催日：10/26 参加者：87名

(2)地域イベント等への参加、支援

2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及事業

(1)「看護の日」記念事業の開催

開催日：5/17 場 所：長崎県対馬病院（対馬病院フェスタにて）

内 容：まちの保健室開催（血圧測定、健康相談、健康手帳の配布、「元気なうちから手帳」の説明と配布、乳がん検診の勧め、等）、記念グッズの配布

(2)ふれあい看護体験の実施

開催日：7/3～6、8/5～8/7

場 所：対馬支部内2施設

内 容：看護ケアの体験、病棟での検温・配膳・食事介助など

参加者：中学生5名

(3)小学生、中学生、高校生へ向けた看護職の広報

①小学校での看護のお仕事説明会での広報（振興局主催）

②中学校での看護のお仕事説明会 7/2 内容：助産師による命についての講話

③対馬高校での職業説明会 ワークショップ8/31 就職セミナー10/22

3) 広報活動

(1)支部だより（協会会報に掲載）年3回

(2)協会ホームページ内「支部活動」ページ更新 適宜

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業

事業内容

1) 渉外活動

(1)関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣
P.199参照

2) 支部運営に関すること

(1)支部会員集会（年1回）

①支部運営委員会の開催（年6回程度）6回開催

3) 会員の入会促進

(1)入会案内冊子、しまで活躍するナースたち、等の配布